

在日大韓基督教会
宣教 90 周年標語

일어나 예수 그리스도의 빛을 발하자
立って イエス キリストの光を放とう
(이사야 60:1, 마태 5:16)

福音新聞
THE GOSPEL NEWS

1月1日(月) <2001年> 第587号

発行所 福音新聞社

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

電話 03 (3202) 5398 番

発行人 金徳化・編集人 姜栄一

毎月1回1日発行 購読料1部100円

昭和38年9月20日 第3種郵便物認可

印刷所・青丘文化社

Tel.047-495-2555 Fax.047-432-7912

新年 메시지

21世紀를 열어가는데 教会의 비전



總會長 金徳化

九三九年 등 繼續되는 戰
争으로 말미암아 피투성이
가 된 波瀾万丈의 한 世紀
였읍니다.
우리 總會도 一九〇八年
에 創立되어 九三年間, 한
世紀를 살아온 것입니다.
우리 總會는 宣敎를 위해
그리고 日本에 살며 온갖
差別을 받던 在日同胞의 生
存을 위해 人種差別 撤廢
運動에 앞장서서 先驅者의
인 關爭을 해왔으며 이에
日本基督敎團을 비롯한 각
界의 뜻있는 基督敎者들이
나와서 連帶의 關爭에 나
타서 結果 就職差別, 指敎押
捺撤廢 등의 成果를 거두게
되었습니다.

(1) 回顧와 展望
二〇世紀는 第一次 世界
大戰(一九一四年)을 비롯
하여 第二次 世界大戰(一
九三九年 등 繼續되는 戰
争으로 말미암아 피투성이
가 된 波瀾万丈의 한 世紀
였읍니다.
우리 總會도 一九〇八年
에 創立되어 九三年間, 한
世紀를 살아온 것입니다.
우리 總會는 宣敎를 위해
그리고 日本에 살며 온갖
差別을 받던 在日同胞의 生
存을 위해 人種差別 撤廢
運動에 앞장서서 先驅者의
인 關爭을 해왔으며 이에
日本基督敎團을 비롯한 각
界의 뜻있는 基督敎者들이
나와서 連帶의 關爭에 나
타서 結果 就職差別, 指敎押
捺撤廢 등의 成果를 거두게
되었습니다.



二〇世紀는 第一次 世界
大戰(一九一四年)을 비롯
하여 第二次 世界大戰(一
九三九年 등 繼續되는 戰
争으로 말미암아 피투성이
가 된 波瀾万丈의 한 世紀
였읍니다.
우리 總會도 一九〇八年
에 創立되어 九三年間, 한
世紀를 살아온 것입니다.
우리 總會는 宣敎를 위해
그리고 日本에 살며 온갖
差別을 받던 在日同胞의 生
存을 위해 人種差別 撤廢
運動에 앞장서서 先驅者의
인 關爭을 해왔으며 이에
日本基督敎團을 비롯한 각
界의 뜻있는 基督敎者들이
나와서 連帶의 關爭에 나
타서 結果 就職差別, 指敎押
捺撤廢 등의 成果를 거두게
되었습니다.

二一世紀를 열어가는데 教会의 비전
一, 二一世紀를 열어가는데 教会의 비전
二, 二一世紀를 열어가는데 教会의 비전
三, 二一世紀를 열어가는데 教会의 비전
四, 二一世紀를 열어가는데 教会의 비전
五, 二一世紀를 열어가는데 教会의 비전
六, 二一世紀를 열어가는데 教会의 비전
七, 二一世紀를 열어가는데 教会의 비전
八, 二一世紀를 열어가는데 教会의 비전
九, 二一世紀를 열어가는데 教会의 비전
十, 二一世紀를 열어가는데 教会의 비전

第7回 祖国의 平和統一과 宣敎에 關한
基督者 福岡會議 決議文

二〇〇〇年十二月十三日
一, 二〇〇〇年十二月十三日
二, 二〇〇〇年十二月十三日
三, 二〇〇〇年十二月十三日
四, 二〇〇〇年十二月十三日
五, 二〇〇〇年十二月十三日
六, 二〇〇〇年十二月十三日
七, 二〇〇〇年十二月十三日
八, 二〇〇〇年十二月十三日
九, 二〇〇〇年十二月十三日
十, 二〇〇〇年十二月十三日

東京	西	東	船	千	大	日	つ	水	山	仙	新	盛	三	札
長	牧	牧	牧	牧	牧	牧	牧	牧	牧	牧	牧	牧	牧	牧
老	新	金	橋	葉	宮	立	ば	戸	形	台	湯	岡	沢	幌
全	金	李	鄭	金	吳	襄	朴	康	白	鄭	金	李	金	千
三	成	漢	秀	鍾	慶	大	得	憲	景	昌	在	君	太	聖
善	教	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道
姫	郎	萬	範	夫	実	河	錫	寶	昇	洽	鎬	植	会	会

謹賀新年

『イエス来ますクリスマス—あなたと祝う』

青年会・留学生会・神学生会主体で準備

アドベントの第一週目に
あたる去る十二月三日、関
東地方会では、主の御恵み
の内に「関東地方会クリス
マス」が盛大に開催され
た。会場となった東京教会
の礼拝堂は溢れんばかりの
会衆で満たされ、熱気と感
動、そして感謝の思いに包
み込まれたすばらしいクリ
スマスの一時となった。

当日のプログラムは、始
めから終わりまで一貫して
「劇形式」によって行われ
た。全プログラムを支える
一つの大きな劇が進行して
いく中で、役者達の演技は
もちろんのこと、ダンスと
ラップによる讚美、プロの
ゴスペルシンガーによる讚
美、クリスマスソングメド
レー、楽器演奏、そして牧
師任のメッセージとお祈り

などが次々とスムーズに繰
り広げられ、これまでの一
般的な礼拝形式とは大きく
異なる、新しいクリスマス
のプログラムが実現した。

こうした新しい試みとし
ての「関東地方会クリスマ
ス」に向けては、実はある
特別な主旨と期待とが込め
られていた。昨年、私たち
の在日大韓基督教会では機
構が大きく改築され、新た
に信徒委員会が発足した。

これに伴って信徒委員会・
関東地方連席会議が今年の
春から数回に渡って持たれ
続けてきたが、その話し合
いでの関心は、主として青
年会関東地方連合会・関東
連における青年の慢性的
な人不足・力不足という問
題に向けられてきた。教会
から離れていく、あるいは

様々な事情で離れざるを得
ない青年が増えている状況
には、そうした若い青年
の、中でも特にかつて教会
につながっていたはずの在
日青年の、自分自身のあり
方や居場所を模索する姿が
あると思われる。しかし、
そのような困難な時代にお
いても、否、困難な時代で
あるからこそ、決意と喜び
をもって確かな教会・信仰
生活の道が開かれるように
なることは、決して私たち
の望みでないはずはない。

こうした教会内の青年の
減少化という深刻な現状が
話し合われる中で、しかし
この問題は決して青年だけ
が抱える問題ではなく、こ
れからの在日大韓基督教会
と新しい未来を担う青年が
育っていくためには、牧

師・家庭・そして教会全体の信徒の祈りと協力なしには克服され得ない問題として認識が共有された。そして、今年のクリスマスを一つの機会に、既に教会内にいる青年たちにもちろんのこと、特に現在様々な事情で教会から離れてしまっている人々、あるいは教会をまだ知らない人々と共に、この大きな喜びの時を分かち

合うことはできないものかという展望が与えられたのであった。

今回のテーマである「イエス来ます クリスマスⅡ あなたと祝う」は、イエス様が私たちのためにいらっしゃったということ、私たちもそのクリスマスの喜びに決意を持って（YESⅡ英語の「はい」）あずかる、という二つの意味をかけた合わせたフレーズである。

当日は、教会で居場所を見つけられない青年を主人公とする内容で劇が展開していった。友人に教会のクリスマスに誘われるが、かつてより居心地の悪さを覚えていた青年は断る。しかしその後、一世のハラボジの苦しい時代の信仰生活の苦や、自分を待っている友

に行く決心をするところで幕は閉じる。劇中ではまた、ダンスとラップという目新しい形での讚美や、フルート・クラリネット・ホルン・ベースギター・ピアノによる楽器演奏もあった。さらに、実際に教会に通う青年たちが感じている教会内での問題点を表現したり、また「自分がなぜ教会に通っているのか」について数人に証ししてもらう場面もあった。これは教会離れの青年やまだ教会を知らない青年に向けてのメッセージであると同時に、現在通っている自分達自身の立っている足元についても、改めて深く振り返る機会となったと言える。

クリスマスメッセージは、「飼葉桶の中で」（ルカ2・1・7）という題目

せる青年の姿があり、大きな喜びを共にすることができた。クリスマス準備実行委員会中心にして、夏以降本格的に準備と苦労を重ねてきた結果であった。遠方からの青年を含め毎主日夜遅くまで残り、共に笑い、泣き、食事をし、そして祈ってきた結果であった。また、その結果と同じくらい喜ばしいことは、そこに至るまでの過程であろう。そこには、今まで知ることでもなかった青年同士の出会い、また普段は近くにいないがとも知ることのできなかった仲間の奥深さの発見、そして立場を超えて、共に祈り協力しながら一つのことを成し遂げる喜びがあった。

しかし、私たちにとって本当に大切なのはこれから

[illegible]

去る十二月十日第三主日の夕刻、今年も「教会・YMCA合同クリスマス」が、約三百名の参加者を得て在日本韓国YMCA地下ホールスペースYで開催された。

第一部の祝賀礼拝は、東京教会を中心とした五教会からなる連合聖歌隊の讃美で厳肅な雰囲気の中、YMCA総務金秀男長老司会で始められた。金東源牧師（新東京バプテスト教会）の開会祈祷、YMCA会員の四ヶ国語によるイエス誕生物語の聖書朗読、理事金廣照長老（横浜教会）の聖書朗読につき、関東地方教会長の鄭熙熙牧師（横須賀教会）により「ガリラヤからユダへ」というテーマで力強い説教があった。

説教後、国際・地域社会奉仕活動のために献金が捧げられている間、会員の呉承容先生のすばらしい特別讃美があり、李激然牧師（千葉教会）の感謝祈祷、一同起立しての讃美、そして林錫潤牧師（福生長老教会）の祈祷後、恒例の連合聖歌隊によるハレルヤ合唱で恵みの内に祝賀礼拝を終えた。

YMCA代表理事の洪其杓牧師による歓迎辞があった後、九階の二・八国際記念ホールに場所を移し、田附和久幹事の司会で始まった第二部の祝賀会では、申鉉錫牧師・東京グローリア教

會)の食前感謝祈禱、徐鍾煥理事の祝杯の後、ささやかながらも心尽くしの料理を共に楽しみながら、久しぶりの出合いにそこかしこに歓談の輪が広がっていた。今回初めて登場したサントには集まった子供たちも大喜びであった。

関東地方に散らされている主にある諸教会がYMCA会員も交え、二十世紀最後のクリスマス喜びを分かち合うことができたことを心から感謝しつつ、「みんなのものがひとつなるために」YMCAの働きをさらに強めていきたいと願うものである。

（報告…金弘明）

視力を失ったとはとても想像できないほどの、力強く、恵み深い讃美であった。歌われた曲『サンライズ・サンセット』に会衆の心が打たれたことは、特筆すべきであろう。

そしてプログラムの最後には、川崎教会の襄妻曹兄の作詞作曲によるテーマソング「僕らのカタチ」が、続いてクリスマスソングメドレーが盛大に讃美された。まさに、演技・メッセージ・ダンスとラップ・楽器演奏・証し・讃美・そして祈りが劇の中で一つになり、与えられたあらゆるタレントが活かされた「手作り」のクリスマスだった。

当日は、初めて顔を合わ

ントが大いに用いられ様々な思いが一つのカタチとなつて人々に分ち合われ、そして主に捧げられた結果である。しかし、このことが皮相的な一時の盛り上がり終わるのではなく、その実現に至るまでに培われた隣り人との連帯、そして主への堅い信仰とがいよいよこれから活かされ、未来の教会を築く力としての信徒運動の確かな始まりともなることを期待したい。主にあつて皆兄弟姉妹とされる私たちが、これからも共に手を取り合いながら主を仰ぎ、隣りに仕える僕として歩んでいけることを祈っています。

（報告…朴大信）

[illegible]

謹賀新年

静岡伝道所

豊橋教会

岡崎教会

名 長
古 老
屋 李
致 盛
會 植

云副牧
直牧
師師師
許趙黃
白尚李
基浩生

名譽長老
名譽長老
金朴
光憲
洙燮

長長
老老
金李
照鍾
男善

名古屋南教会

岐阜教会

名譽長老 金英世
長老 金英世

牧師 隱退長老 金承永 徐弼均

牧師康興富

一宮傳道所

【関西地方会】

崔炳鈺

牧師 金朴
長老 昌壽
名譽長老 吉日

名譽長老
長老
金文
德沂
殊述

長長長
老老老
金愈金
王台在
換植排

長老曹成鎬

謹賀新年

京都南部教会

京都東山伝道所
長 趙金 楊尚
名譽長老 鳳永 成尚
長老 趙金 楊尚

京都伏見伝道所
牧師 羅曾

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪教西正雄

大阪聖山教会
牧師 金秀

大阪第一教会
牧師 柳海

大阪築港教会
牧師 金仲

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

大阪野島教会
牧師 朴珍

鳳中伝道所
牧師 金永

柏原伝道所
牧師 金永

春木伝道所
牧師 金永

西宮教会
牧師 鄭川

武庫川教会
牧師 鄭川

川西教会
牧師 鄭川

宝塚教会
牧師 鄭川

神戸教会
牧師 鄭川

神戸教会
牧師 鄭川

神戸教会
牧師 鄭川

神戸教会
牧師 鄭川

神戸教会
牧師 鄭川

神戸教会
牧師 鄭川

神戸教会
牧師 鄭川

神戸教会
牧師 鄭川

神戸教会
牧師 鄭川

神戸教会
牧師 鄭川

宇部教会
牧師 崔秀

下関教会
牧師 李鶴

小倉教会
牧師 李鶴

折尾教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

福岡教会
牧師 李鶴

西南在日韓国基督教會館
理事長 崔正剛

在日本韓國YMCA
理事長 金秀奎

全國教會女性連合會
會長 鄭貞順

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

青年會全國協議會
代表委員 韓守賢

公告

本總會 考試委員會는 二〇〇一年度宣教師加入・牧師・伝道師の考試를 다음과 같이 실시한다.

一、日 時：二〇〇一年四月九日(月) 午前十時

二、場 所：大阪KCC 大阪市生野区中川西2-16-10 電話(06)6731-6801

三、考試科目
☆宣教師加入
①憲法(總會憲法・總會規則・勸懲條例等) ②口頭

☆牧師
①旧約神學 ②新約神學 ③旧約教義 ④新約教義 ⑤組織神學 ⑥教理史 ⑦憲法(總會憲法・總會規則・勸懲條例等)

☆伝道師
①旧約概論 ②新約概論 ③旧約教義 ④新約教義 ⑤組織神學 ⑥教理史 ⑦憲法(總會憲法・總會規則・勸懲條例等)

四、提出書類
①考試請願書 ②教會請聘書 ③地方會長推薦書 ④履歷書 ⑤神學生研修會參加證明書(伝道師 應試者) ⑥最終學校卒業證明書 ⑦成績證明書(伝道師 應試者)

五、提出處：總會事務所 2001年1月10日 考試委員長 金君植

六、提出期限：三月一日 必着

※應試者：考試委員長 或은 總會事務所外 試驗範圍에 對해 問議하기를 바랍니다.

※旅費는 該教會 또는 該機關에서補助해 주시기 바랍니다.

二〇〇一年一月十日 考試委員長 金君植